

# 香港株式市場フラッシュ

## 「ロボスターの飼育・養殖」で話題沸騰の中国 AI エージェント

リサーチ部 笹木和弘

Tel: 03-3666-6980

E-mail: kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp

フィリップ証券株式会社

2026年3月25日号(3月25日作成)

### 「AI エージェントの「オープンクロー」が大きな潮流へ

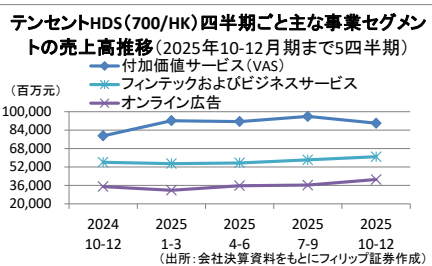
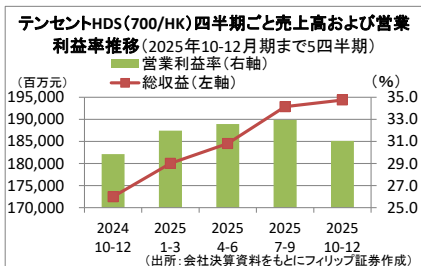
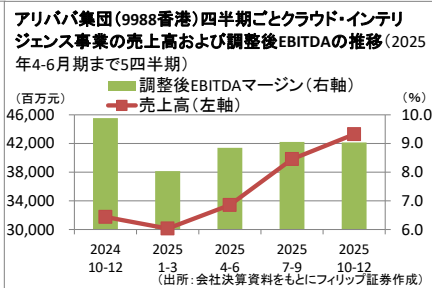
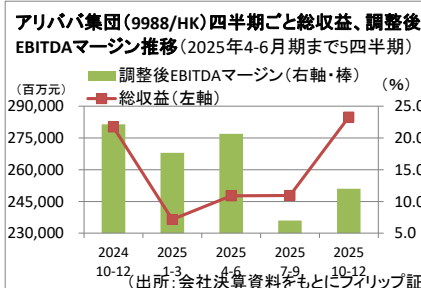
中国で AI (人工知能) エージェントの「オープンクロー」がブームとなっている。オープンクローはオーストリア出身の工学者ピーター・スタインバーガー氏が開発し、2025年11月に公開された。オープンソースとして技術が広く公開されており、中国ではそのロゴマークから「龍蝦(ロボスター)」と呼ばれて親しまれている。オープンクローをインストール・設定・カスタマイズして、自分専用の自律型 AI エージェントを「育てる」プロセス全体のことをネット界隈で「ロボスターの飼育・養殖」と呼んでいる。単にツールとして使いこなすのではなく、スケジュール管理用のエージェント、メール仕分け用のエージェント、副業支援用のエージェントなど、AI をペットや従業員のように育て、成長させ、日常業務を任せるといったイメージだ。

中国の全国人民代表大会(全人代)が承認した政府活動報告の要旨では、「科学技術」の項目で「AI 戦略を強化し、次世代スマート端末などの普及を促進し、重点業種・分野における AI 応用の商業化を進める。」との文言が盛り込まれた。全人代第4回会議の記者会見において国家発展改革委員会の鄭主任は、第15次5カ年(2026~2030年)計画期間終了までに、人工知能(AI)関連産業の規模が10兆元(約230兆円)以上に成長するとの見通しを明らかにした。中国のハイテク・製造拠点である複数の地方政府は、相次いでオープンクローを中心とする産業育成策を発表している。このような動きを背景に、中国ネットサービス大手の**テンセント(700香港)**が3月初旬にオープンクローのインストールなどを支援するキャンペーンを中国・深センの本社前で行ったところ、小学生から高齢者までずらりと並び、当初の想定を超えて千人を超える行列ができたと報じられた。

### 「アリババとテンセントの四半期決算と AI への取組み」

中国ネット通販最大手**アリババ集団(9988香港)**が3/19に発表した2025年10-12月期決算は、売上高が前年同期比2%増の2848億元、純利益が同67%減の163億元だった。生成 AI (人工知能) も利用拡大を追い風にクラウド・インテリジェンス事業の成長が続いた一方、顧客の獲得競争が激化した出前事業で販促費が膨らんだ。アリババは生成 AI の基盤モデル「千問(Qwen)」を自社開発してクラウド利用促進につなげる戦略をとるほか、傘下企業を通じて AI 向け画像処理半導体(GPU)を実用化し、高付加価値サービス提供を目指している。

テンセントが3/18に発表した2025年10-12月決算は、売上高が前年同期比13%増の1943億元、純利益が同15%増の590億元だった。事業別売上高では、ゲームと音楽のストリーミングサービス等を合わせた「付加価値」が14%増の899億元、「ネット広告」が17%増の411億元、「フィンテックおよび企業向けサービス」が8%増の608億元。AI を活用してゲーム制作をスピードアップしたり、的確に広告を掲出する制度が高まり閲覧量が増えたほか、クラウドサービスを通じて企業などに AI 機能を提供するサービスが収益を押し上げた。AI 効果により全体の粗利益率が3.1ポイント上昇の55.7%へ改善した。



### ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄 (全100銘柄)における終値の昨年末来騰落率

前回基準日: 20260310 基準日: 20260324

順位	2025年末来騰落率・上位10銘柄 (%)	前回順位	
1	新鴻基地産発展[サンファンカイ・プロパティーズ]	39.5	1
2	中国海洋石油 [CNOOC]	38.2	4
3	中国石油天然気 [ペトロチャイナ]	27.9	5
4	信義瑠璃控股[信義ガラス]	24.5	3
5	中国神華能源 [チャイナ・シェンワ・エナジー]	22.4	10
6	ZTOエクスプレス(ケイマン)	21.6	19
7	JD Logistics Inc	20.8	13
8	李寧[リーニン]	17.8	31
9	創科実業[テクトロニック・インダストリーズ]	17.5	2
10	華虹半導体[ファホン・セミコンダクター]	16.9	6

順位	2025年末来騰落率・下位10銘柄 (%)	前回順位	
100	Tencent Music Entertainment Group	-43.0	97
99	中升控股 [ファンサン・グループ・ホールディングス]	-32.4	95
98	金蝶国際軟件集团 [キングディー・ソフトウェア]	-29.8	100
97	携程旅行網 [トリップドットコムグループ]	-28.3	99
96	Meituan (美国)	-23.5	98
95	中芯国際集成电路製造 [SMIC]	-22.7	86
94	舜宇光学科技(集团) [サニーオプティカル・テクノロジー]	-19.3	93
93	金山軟件 [キングソフト]	-19.1	88
92	地平線机器人[ホライズン・ロボティクス]	-17.8	91
91	Kuaishou Technology(快手)	-17.4	73

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

### 【2026年3・4月: 中国主要経済指標】

- 3月13日(金)-
  - ・2月資金調達総額: 前回7.22兆元、結果9.60兆元
  - ・2月新規人民元建て融資: 4.71兆元、結果5.61兆元
  - ・2月マネーサプライM2<前年同月比>: 前回+9.0%、結果+9.0%
  - ・2月新築住宅価格<前月比>: 前回▲0.37%、結果▲0.28%
- 3月16日(月)
  - ・2月小売売上高<前年同月比>: 前回+3.7%、結果+2.8%
  - ・2月鉱工業生産<前年同月比>: 前回+5.9%、結果+6.3%
  - ・1-2月不動産投資<前年同期比>: 前回▲17.2%、結果▲11.1%
  - ・1-2月固定資産投資<前年同期比>: 前回▲3.8%、結果+1.8%
  - ・2月住宅販売面積<前年同月比>: 前回▲13.0%、結果▲21.8%
  - ・2月調査失業率<前年同月比>: 前回5.1%、結果5.3%
- 3月20日(金)
  - ・1年ローン・プライムレート: 前回3.00%、結果3.00%
  - ・5年ローン・プライムレート: 前回3.50%、結果3.50%
  - ・2月対外直接投資<前年同月比>: 前回▲5.7%、結果▲5.7%
- 3月27日(金)
  - ・1-2月工業利益<前年同期比>: 前回+0.6%
- 3月31日(火)
  - ・2月製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回49.0
  - ・2月非製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回49.5
- 4月1日(水)
  - ・2月(RatingDog) 製造業PMI: 前回52.1
- 4月3日(金)
  - ・2月(RatingDog) サービス部門PMI: 前回56.7
- 4月7日(火)
  - ・2月外貨準備高: 前回3.427兆USD
- 4月10日(金)
  - ・2月消費者物価指数(CPI)<前年同月比>: 前回+1.3%
  - ・2月卸売物価指数(PPI)<前年同月比>: 前回▲0.9%
- 4月14日(火)
  - ・2月貿易収支: 前回+909.8億USD
  - ・2月輸出<前年同月比>: 前回+39.6%
  - ・2月輸入<前年同月比>: 前回+13.8%

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考としてレポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、当レポートの作成者も、責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載することを禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく表示>

・フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。